

教科シラバス（公民科）

科目名	政治・経済	単位数	3	対象	3年 一般類型 進学類型<文系>	使用教科書	高等学校改訂版 政治・経済 (第一学習社)	副教材	最新政治・経済資料集2023(第一学習社) 改訂版政治・経済ノート(第一学習社)
学習目標									
<ul style="list-style-type: none"> ・現代の政治や経済についての基本的な見方や考え方を身に付けます。 ・社会の様々な課題について主体的に考察し、公正な判断力を養います。 ・良識ある社会人として必要な能力と態度を育てます。 									
学習内容	単元・要目	指導項目			学習内容				
	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原理と日本国憲法	1 政治と法の機能 2 人権保障と法の支配 3 議会制民主主義と世界の政治体制 4 日本国憲法の基本原理 5 平和主義と自衛隊 6 基本的人権の保障と新しい人権 7 国会の組織と行政 8 内閣の機構と行政 9 裁判所の機能と司法制度 10 地方自治制度と住民の権利 11 政党政治と選挙制度 12 民主政治における世論の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・政治に対する関心を高め、民主主義の本質を理解し、政治に対する基本的な見方や考え方を身に付けます。 ・日本国憲法の基本的原則について、生活との関わりから認識を深めます。 ・国会、内閣、裁判所などの政治機構を学習し、議会制民主主義の在り方について理解します。 ・地方自治、政党政治、選挙などに着目し、望ましい政治の在り方や主権者としての政治参加の在り方について考えます。 						
	第2章 現代の国際政治と日本	1 国際社会と国際法 2 国際連合の役割と組織 3 国際政治の動向 4 国民紛争と難民問題 5 国際平和と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・国際政治の動向を通じて、国際社会の変遷、領土などに関する国際法の意義、国連をはじめとする国際機構の役割について理解します。 ・日本の安全保障と国際貢献について理解します。 ・国際紛争の諸要因から国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割を理解します。 						
	第2編 現代の経済 第1章 経済社会の変容と経済のしくみ	1 資本主義経済の発展 2 市場経済の機能と限界 3 財政のしくみ 4 金融のはたらき 5 財政の仕組み 6 物価の動き 7 日本経済の歩み 8 日本経済の諸課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市場経済の機能と限界、経済成長、景気変動、財政及び金融の仕組みなど、現代経済の仕組みや機能についてその特質を理解し、経済についての基本的な見方や考え方を身に付けます。 ・現代経済の特質から、今後の経済活動の在り方と福祉の向上との関連を考えます。 						
	第2章 国民経済と国際経済	1 国際経済の仕組み 2 為替相場の仕組み 3 国際経済の諸問題	<ul style="list-style-type: none"> ・貿易の意義、為替相場や国際収支の仕組み、国際協調の必要性、国際経済機関の役割について理解し、国際経済における日本の役割について考えます。 						
	第3編 現代社会の諸課題 第1章 現代日本の政治や経済の諸課題	1 住民生活と地方自治 2 農業と食料問題 3 労使関係と労働市場	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会の変貌と住民生活、雇用と労働をめぐる問題、農業と食糧問題などについて、政治と経済とを関連させて探究します。 						
第2章 国際社会の政治や経済の諸課題	1 核兵器の廃絶と軍縮 2 経済摩擦と外交 3 南北問題と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> ・国際経済格差の是正と国際協力、人種・民族問題と地域紛争、国際社会における日本の立場と役割について、政治と経済とを関連させて探究します。 							
授業の概要と特色	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には教科書に沿って授業を進めます。教科書の内容をワークシートを用いながら授業を行います。 ・新聞やテレビ等で報じられるニュースに、興味・関心を持てるように授業を展開します。そして、それらのニュースについて自分の考えが持てるようにします。 								
学習評価の観点及び方法	<ul style="list-style-type: none"> (観点1：関心・意欲・態度) ・授業態度の観察やノート・ワークシートなどの活用の点検を通じて評価を行います。 (観点2：思考・判断・表現) ・資料をもとに、思考・判断・表現する能力を授業等で評価します。 (観点3：資料活用の技能) ・資料を活用する能力を、長期休業中のレポート等で評価します。 (観点4：知識・理解) ・定期考査において、授業で学習した基礎・基本事項の理解度を評価します。 								
学習ポータル	<ul style="list-style-type: none"> ・「なぜ？」という問題意識を持って授業に臨みましょう。 ・授業で学習した内容を復習して、基礎的・基本的事項の定着を図りましょう。 ・毎日、新聞やテレビ等で報じられるニュースに興味・関心を持ちましょう。 								

